



2014年2月18日

BMW R 1200 GS が、「2013 MOTO NAVI モーターサイクル・オブ・ザ・イヤー」の栄冠に輝く

- 2012 MOTO NAVI モーターサイクル・オブ・ザ・イヤーに輝いた BMW F 700 GS に引き続き、二年連続の快挙。

ビー・エム・ダブリュー株式会社(代表取締役社長: アラン・ハリス)の二輪車 BMW R 1200 GS が、二輪車誌 MOTO NAVI 主催の 2013 MOTO NAVI モーターサイクル・オブ・ザ・イヤーにおいて、栄えある一位に選出され、見事、2013 MOTO NAVI モーターサイクル・オブ・ザ・イヤーの栄冠に輝いた。

BMW Motorrad が MOTO NAVI モーターサイクル・オブ・ザ・イヤーの栄冠に輝くのは、2012 年に栄冠に輝いた BMW F 700 GS に引き続き、二年連続の快挙である。また、昨年で 10 回目となる MOTO NAVI モーターサイクル・オブ・ザ・イヤーにおいて、BMW Motorrad は 2006 年の BMW F 800 S、2012 年の BMW F 700 GS、2013 年の BMW R 1200 GS と、三度も栄冠に輝いている。

今回の受賞にあたり、BMW Motorrad ディレクターのエクレム・サックは、「世界中で受け入れられている BMW R 1200 GS が、日本のような成熟したマーケットにおいて、著名なジャーナリストの方々から高く評価されたことは、ひじょうに嬉しく、光栄の極みです。ハンドリング、トルク、どれを取っても、BMW R 1200 GS は優れた性能を有していますので、一人でも多くのお客様に乗っていただきたいです。」と述べている。

MOTO NAVI モーターサイクル・オブ・ザ・イヤーについて

日本国内で発売されたモーターサイクルの中から、注目度の高いモデルが約 20 台ノミネートされ、複数の二輪ジャーナリストが試乗し、配点したポイントの合算によりランキングを決めている。2004 年からはじまった同企画(当初は MOTO NAVI「ザ・ベストテン」)は、2013 年で、10 回目を迎えている。今回の「2013 MOTO NAVI モーターサイクル・オブ・ザ・イヤー」は、2013 年に日本で発売されたモーターサイクル 18 台を一同に介し、7 名の二輪ジャーナリストおよび MOTO NAVI 編集長により、サーキットおよび一般道で試乗、各自 10 点満点で評価した。

BMW R 1200 GS は 66 ポイントを得て、栄えある 2013 MOTO NAVI モーターサイクル・オブ・ザ・イヤーに輝いた。2 位以下は、以下の通りである。

2 位:	トライアンフ・ストリートトリプル 85ABS	65 ポイント
3 位:	スズキ GSR750ABS	61 ポイント
4 位:	カワサキ Ninja250 ABS	61 ポイント
5 位:	ドゥカティ 1199 パニガーレ R	60 ポイント
6 位:	MV アグスタ ブルターレ 800	60 ポイント

7 位: BMW F 800 GT	60 ポイント
8 位: KTM1190 アドベンチャー	59 ポイント
9 位: KTM390 デューカー	57 ポイント
10 位: モト・グッヅィ V7 レーサー	57 ポイント

BMW Motorrad R 1200 GSについて

BMW Motorrad のベストセラー・モデルであり、かつ、世界で最も人気の高いツーリング・エンデューロ・モデルである。32 年もの間、ツーリング・エンデューロのアイコン的存在である BMW R 1200 GS は、コーナーの連続するカントリー・ロードにおけるスポーティな走行、ハイウェイでの高速走行、タンデム・シートに乗せたパッセンジャーとの快適なツーリング走行など、様々な場面において BMW Motorrad の「駆けぬける歓び」を提供する大型ツーリング・エンデューロとして、長年にわたり世界中の多くのモーターサイクル・ファンを魅了し続けている。最新型の BMW R 1200 GSにおいては、あらゆる観点から改善を施し、新たな革新的テクノロジーを採用、ツーリング・エンデューロ・セグメントにおける新たなベンチマークを確立するモデルである。

二輪車誌 MOTO NAVIについて

自動車雑誌「NAVI」の別冊として 2001 年に創刊。“もういちど、オートバイと暮らす”をテーマとして、ハードウェア批評に偏らない、大人のライダーに向けたツーリング、ファッショニ、ライフスタイルなどを提案している。2010 年よりボイス・パブリケーションが発行し、現在は偶数月 24 日発売の隔月刊誌。編集長は同社の代表でもある河西啓介氏が務めている。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
 BMW カスタマー・インタラクション・センター：フリーダイヤル 0120-269-437 を
 ご掲載ください。
 受付時間：9:00-20:00 年中無休
 BMW Motorrad インターネットウェブサイト：<http://www.bmw-motorrad.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは：
 BMW Japan Corp. 広報室：03-6259-8026(製品広報)